





報道発表資料の配付日時 9月 8日 (水) 15時30分

発表項目 (行事名)	「いしかりゼロカーボンアクション+ (プラス) ~7 weeksチャレンジ~」 の実施について 		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<p>道では、2020年3月に「2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す」ことを表明し、脱炭素化と、経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指して、オール北海道で取組を推し進めているところです。</p> <p>石狩振興局では、脱炭素化の取組を足元から進めるため、職員自らが脱炭素に配慮した行動（ゼロカーボンアクション）に率先して取組み、職員の行動変容と習慣化を目的とした「いしかりゼロカーボンアクション+ ~7 weeksチャレンジ~」を実施することとしましたのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>■実施期間 令和3年（2021年）9月13日（月）～10月31日（日）の7週間 （期間を定めて集中的に取り組むことでゼロカーボンアクションの定着を目指します。）</p> <p>■対象者 石狩振興局全職員（出先機関含む）</p> <p>■取組方法 ○職員は、脱炭素に配慮した行動（ゼロカーボンアクション）に取り組むことを宣言し、自らの生活スタイルに応じた行動目標を実践することで、より多くのゼロカーボンアクションが習慣化するよう挑戦する。 ○併せて、ゼロカーボンアクションを実践する道民が増えるよう、家族や友人など身近な人にも取組を呼びかける。</p> <p>■来庁者への周知 ○別添のポスターを掲示し、来庁者へ取組をお知らせするとともに、脱炭素に配慮した行動を呼びかける。</p> <div style="text-align: right;">  環境忍者 えこ之助 </div>		
参 考			
報道（取材） に当たっ てのお願い	ゼロカーボン北海道の実現に向け、本取組や脱炭素に配慮した行動を知っていただきたいので、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担 当 (連絡先)	石狩振興局 保健環境部 環境生活課（担当者：主幹 吉岡 憲房） TEL 011-231-4111（内線：34-352）		

いしかりゼロカーボンアクション+ (プラス) ～7 weeksチャレンジ～ を実施しています。

○道では、2020年3月に「2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す」ことを表明し、脱炭素化と、経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指して、オール北海道で取組を強く推し進めているところです。

○そこで、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた石狩振興局における取組として、職員自らが率先して、脱炭素に配慮した行動（次の24項目から7項目を選択）に取り組むことを宣言し、一定期間チャレンジする「いしかりゼロカーボンアクション+～7 weeksチャレンジ～」を実施しています。

○地球温暖化を防ぎ、持続可能な地域づくりを実現するためご来庁の皆さまも脱炭素に配慮した行動を、私たちと一緒に取り組んでみませんか？



■アクション項目

①使用していない電気（照明、テレビなど）はこまめに消す	⑦お風呂は間隔を置かずに入り、追い炊きをしない	⑬マイ箸、マイスプーンを使用する	⑲両面コピーや裏紙を積極的に利用する
②すぐに使用しない電気製品はコンセントを抜く	⑧駐車時はアイドリングをストップする	⑭マイバッグを使用するなど、レジ袋の受取を辞退する	⑳お風呂や洗面所等では、ムダに水を流しっぱなしにしない
③テレビやパソコンの画面の明るさを抑える	⑨自動車を運転する際は、ふんわりアクセルでエコドライブ	⑮過剰包装されていない商品の選択、自宅用商品は過剰包装を断る	㉑宅配ボックスや置き配・時間指定サービスを活用する
④パソコンのスリープモードを活用する	⑩可能な場合は自転車や徒歩、バスなどで移動する	⑯詰め替え商品を購入する	㉒食品は食べきりに努め、食品ロスを防ぐ
⑤冷蔵庫に食材を詰め込みすぎない	⑪可能な場合はエレベータを使わず、階段を利用する	⑰ごみの分別を徹底する	㉓地域（道産）の食材を選択する
⑥温水洗浄便座の設定温度を下げ、使わないときはフタを閉める	⑫マイボトルを使用する	⑱生ごみは水切りし、減量してから捨てる	㉔その他（任意設定）

